

坂戸市北坂戸地区まちづくり推進事業基本計画(案)に係る意見、要望等について

標記計画（案）に対し12月11日までに提出された意見、要望等を公開します。

今後も引き続き市民の皆様からの意見、要望等を伺い、具体的な事業計画（案）の策定を進めていきます。

1 溝端公園の活用等について

- ・ 公園用地は売却しないでほしい。
- ・ 北坂戸公民館の機能を移設し、地域交流センター化してもらいたい。
- ・ 北坂戸公民館は中心部から距離があるため、公民館のような施設が溝端公園用地にあるとよい。
- ・ 図書館及び情報発信機能を有した施設として設置してもらいたい。
- ・ 高齢者等の健康ラジオ体操を実施するスペースを確保してもらいたい。
- ・ 周辺の緑地化（花壇整備等）をしてもらいたい。（現在地域ボランティアの皆さんが花壇を定期的に維持管理しています。）
- ・ 健康器具（健康足つぼ歩道等）を設置してもらいたい。
- ・ この事業について賛成である。商業施設については周辺市に増えてきたが坂戸にはない状況である。地域の雇用などにもつながる。
- ・ 旧北坂戸中学校用地の活用と同じようなイメージであるが、その場合、地域の人を使うが、地域の外から人が集まるわけではない。スーパーができると近隣のスーパーや商店が衰退するが、やるのであれば近隣商店と競合しない大規模な施設の立地を検討することも必要ではないか。
- ・ 溝端公園の活用ですが、多世代交流拠点施設と賑わい広場は、無理をして人々に来てもらうように感じます。大型の商業施設を設置しても北坂戸周辺の商店が消滅してしまいます。各地のシャッター通り商店街が良い例です。賑わい広場は、一時的に人が来るかもしれませんが長続きしません。また周辺には、銀行・郵便局・小規模保育所・坂戸市の出張所も有ります。
これらを考えれば、地域の健康維持・向上に特化すべきです。溝端公園の緑を生かして「緑の中の医療センター」として、高齢者・若年・子育て世代、各種感染症対応の医療施設設置を提案します。この施設があることで地域の皆さんが、安心して暮らせるようになります。定期的な利用者がいれば、公園の緑が気持ちを癒してくれるでしょう。

2 旧北坂戸小学校用地の活用等について

- ・ テニスコートをなくさないでほしい。現在はクレイコートだが、北小用地に移転する際、オムニコートになるとなおよい。アスファルトやコンクリートはやめてほしい。
- ・ 遊具については、子どもたちに人気のあるものは残してもらいたい。
- ・ 校舎の一部を町内会及び地域のサークルやグループ等に貸出をしてほしい。

- ・ 校庭（プール部も含め）については、公園の機能（少年野球、ソフトボール、ペタンク、グラウンドゴルフ、ゲートボール、テニス等）を有すると共に子ども達が遊べる遊具を整備してもらいたい。
- ・ 現在の公民館体育館と旧北坂戸小学校の体育館を雨の日でも使用できるように、連絡通路を設置し、幼児や児童が室内で遊べるよう遊具等の環境を整え、公園と一体化した施設にしてほしい。（例、連絡通路は長い滑り台等の遊具）
- ・ 旧北坂戸小学校の活用ですが、元の広い校庭と耐震補強のある校舎を解体して他の用途に転用してしまうのは、あまりにも「もったいない」ことです。
これを「スポーツセンター」として再整備し、地域の人たちに有料で利用していただきたいとします。高齢者・若い世代の健康維持や、スポーツを定期的に楽しめる場所が必要です。ここでは、野球場、サッカー場、テニスコート、プール、体育館での室内競技などを利用できます。そして、元校舎を利用して事務所、更衣室、休憩所、相談室等に改築します。
また、災害が起きたときの防災機能を備えた施設として、旧校舎及び体育館を利用し、防災備蓄品、防災用具、自家発電機、屋上にはソーラーパネルなどを設置するようにします。平常時には、防災学習及び防災訓練の場にもなるようにします。
- ・ 北小校舎の既存建物は現在の耐震基準に修復して老人、障害者が安心、安全に避難生活が送れるようにバリアフリー化、多目的トイレ等の整備をしてもらいたい。
- ・ 日照被害、落雪等があるため、一部の施設を解体してもらいたい。
- ・ 溝端公園は、都市公園法に基づいて設置され、同地区の住民にとり重要な公園である。計画案では、当公園を、旧北小と入れ替えることも示されているが、地域住民の長年にわたるコミュニティや防災時の避難所としての機能が後退することになると危惧するが如何か。又、「新しい都市公園の考え方」の内容は？
- ・ 北小校舎は今回水害時の当町内会を含む四地区の一次避難所に認定されたのであり是非とも解体することなく存続させてもらいたい。そして内部を整備して当町内会のように集会所のない町内会に利用させてもらいたい。

3 防災機能について

- ・ （溝端公園は）現在「指定緊急避難場所」に位置づけをしているので、その機能は維持してほしい。
- ・ （溝端公園用地に）防災機能（トイレ、炊き出しベンチ、発電機、太陽光発電、防災倉庫等）を整備してもらいたい。
- ・ 災害時の地区拠点機能として、（溝端公園用地の拠点）施設の中に自治会事務所を設置してもらいたい。
- ・ ドクターヘリの指定離着陸場（現在指定済）の機能は維持してもらいたい。（近年離着陸の実績もあります）
- ・ 4階建ての校舎は水害時の一時避難所として機能を維持してもらいたい。（高齢者が指定避難所に行くまでの距離が遠い為）
- ・ 校舎の活用を含め、防災機能を有した拠点施設とするべきである。
- ・ 公園の防災対策として、かまどベンチやマンホールトイレなどの整備をこの機会に行うべきである。

4 今後の進め方について

- ・ 当計画について、現在まで地元住民への説明はどのような範囲と規模で何回行われ、どのような意見があったのか。又、今後のスケジュールを示されたい。更に、今後、地域全住民への説明と意見を聞く機会を持ち、住民の意見に基づいて進められることは重要と考えるが如何か？
- ・ 今回は資料回覧としましたが非常に大切な問題につき早急に地域住民に対して説明会を開催して戴きたく考えます。

5 その他

- ・ 新しい計画を考える時、新しい施設も必要ですが、既存の環境・建物等を大事に利用して生かしていくことも必要と考えています。
- ・ 当計画による投資効果をどのように考えているのか？
- ・ 北坂戸駅西口に併設されているペDESTリアンデッキは駅前活性化等に有効な施設と考えるが今回の計画での新たな活用の検討は含まれていないのか？
- ・ 地域住民の買い物のしやすさが重要である。整備費用だけがかかり人が来ないのでは意味がない。数十年先を見据えて、市の税収が上がるようにするべきである。収支計画等も出していくべきである。
- ・ 当計画は、北坂戸駅から概ね半径 500m（徒歩圏）を都市機能誘導区域に設定している。半径 500m の範囲には北坂戸駅東側の芦山、薬師町の商店街（商圈）も含まれるが本計画との整合性をどのように位置づけているのか？
- ・ 北坂戸駅周辺の新たな活性化では、既存の商店街との共存共栄が必要と考える。今回の計画ではどのように考えているのか？
- ・ 概要版 4 ページのイメージ図を見たが、東武ストア跡地や沿道を活かすべきである。
- ・ 北坂戸地区にある「末広幼稚園」の「廃園条例」が採択されたが、当計画の「多世代交流拠点施設」の民間施設に「幼稚園」が含まれている。公立を閉園して私立幼稚園の建設を行うという考えか？
- ・ 「サウンディング型市場調査の結果概要」で、その他の意見には、「UR 賃貸住宅の今後の展開を気に掛ける事業者が多数。建替えをする場合はその種地として公的ストックを活用する提案があった」と記されている。市は、UR 機構と連携協定を締結しているが、当意見に対する見解は？
- ・ （基本計画（案）P 3に記載されている）4 項目の「課題など」は重要と考える。特に「P-PFI 事業」は全国的にも課題が指摘されており慎重を期す必要があると考えるが市の認識は？
- ・ 当計画の条件としてさらなる交通の利便性の向上が必要と考える。北坂戸駅の快速停車駅とすべきと考えるが市の考えと可能性は？
- ・ 人を集めるには交通の便をよくする必要がある。北坂戸には快速が止まらないため、東武鉄道に働きかけをしてほしい。
- ・ 市民バス等の交通政策についても検討をしてほしい。